平成 30 年度　北海道小樽潮陵高等学校　学校経営シラバス　【全日制】

北海道小樽潮陵高等学校

学　校　教　育　目　標	め　ざ　す　生　徒　像
1　平和で文化的な国家及び社会の形成者としての人格の完成をめざす。 2　正義を愛し、真理を探究し、責任を重んじ、寛容と自主的精神に充ちた心身ともに健康な人間の育成を期する。 3	潮陵のこころ 「自由と進取の精神の尊重　達成感とつながりの重視」 1　高い学力と豊かな教養を求め、自ら学ぼうとする生徒(向学心豊かな生徒) 2　正しい自己理解にもとづき、進路目標を達成しようとする生徒(自己実現できる生徒) 3　望ましい倫理観や規範意識を身に付け、社会的使命感を持って行動できる生徒(良識ある生徒) 4　健康な心身と豊かな感性を持ち、人とのつながりを大切に生きようとする生徒(心身の健やかな生徒) 5　地域に根を張りつつ、広い視野で社会を見ることができる生徒(国際的視野を備えた生徒)
本　校　の　使　命	
本校の歴史と文化を継承しつつ、国際的視野を持ちながら社会を建設する自覚と使命感を持った人材を育成する。	

○　中期的展望（達成目標等）

育成すべき生徒像	育成目標・達成目標等	中期・短期的方策
向学心豊かな生徒	・探究心の喚起と学ぶ意欲の育成 ・知識・技能の習得 ・思考力･判断力･表現力の育成 ・授業満足度の向上	・授業内容と教科研修の充実 ・学習課題やテスト問題の検討 ・図書館活動の充実 ・授業評価と授業改善
自己実現できる生徒	・自己理解にもとづく目標の設定 ・自己実現のための意識･態度の育成 ・自己目標の達成	・進路学習の充実 ・自己診断テスト･学習状況調査の活用 ・進路情報の提供と進路資料の充実 ・講習の充実
良識ある生徒	・モラルやマナーの定着 ・健全な自意識と判断力の育成 ・社会的使命感の醸成	・日常的な啓発と指導の継続 ・挨拶や社会に通用するマナーの指導 ・学校生活意識調査の活用 ・地域･社会活動への参加
心身の健やかな生徒	・協調性の醸成 ・リーダーシップの育成 ・体力、運動能力の向上 ・健康意識の醸成	・ＨＲ活動･学校行事の改善･充実 ・生徒会活動･部活動の充実 ・身体能力の把握と体育的活動の充実 ・健康指導･教育相談活動の充実
国際的視野を備えた生徒	・地域社会や自国の歴史･生活･文化への理解 ・異文化や歴史への理解 ・世界の人々との共生意識の醸成	・各教科･科目での工夫 ・海外資料･図書の充実 ・PISA等各種テストの活用 ・ドリームプランの活用と参加 ・校内外での各種活動への参加 ・高大連携の推進

○　今年度の重点事項

1　多様な生徒に対応した懇切丁寧な指導を行い、教科・学年・学校全体が連携して、自主的学習態度を持った高い学力を有した生徒を育てる

2　生徒の進路実現のために全力で支援するとともに、医進類型の充実や大学との連携により、高い進路意識を持った生徒を育てる

3　部活動・生徒会行事・諸活動を通して、生徒が生き生きとした学校生活が送れるよう支援するとともに、生徒の自主性、創造性、協調性、公共心などを育む

○　今年度の経営方針

1　教職員１人１人が潮陵高校を担っているという誇りを持ち、将来リーダーとなりうる生徒の意欲や自尊感情を高める指導にあたり、高いレベルで知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成に努める。

2　授業力向上に努め、補習・講習、面談、研修など全ての機会を捉えて本校生徒の学力向上を図るとともに、学習意欲を喚起するため、一方通行でなく、生徒が主体的に取り組み、教師と生徒、生徒と生徒の協働を通した指導方法の工夫・改善に取り組む。

3　生徒に夢を持たせ、志を育てるために高大連携・地域連携などを一層推進し、年１０回程度の講演会や体験学習の実施に努める。

4　後志管内の中心校、全道の伝統校としての本校の使命を自覚し、地域の期待に応え、生徒・保護者の夢や切なる願いをかなえるために、高大接続改革や新学習指導要領の動向を見据え、一人一人の多様な進路実現と難関大合格及び国公立大合格を目指した指導に努める。

5　不祥事の未然防止を図り、危機管理意識を高めるため校内体制を整備し、生徒・保護者・地域に信頼される学校づくりに取り組むとともに、働き方改革の動向に沿った改善を図る。

6　ホームページ、保護者説明会などの様々な機会を捉え、本校の教育活動の積極的な発信に努める。また、生徒募集や中学生の進路意識・学習意欲の向上に資するため、学校見学会の充実を図り、管内中学校訪問及び中学校進路説明会の２０校実施を目指す。